

倒れた男性を AED や心肺蘇生法で救命 救命活動をした 5 人に感謝状

今年 1 月に市内のテニスコートで倒れた男性を救命した市民 5 人に、2 月 21 日、消防長から感謝状が贈られました。その場に居合わせた 5 人は、119 番通報、AED の持ち出し、AED の操作や心肺蘇生法、救急隊の誘導などを行い、5 人の見事な連携で突然倒れた男性を救命しました。

一命を取り留めた木戸勝則さんは「回復したのは皆さんのおかげ。お礼のしようがないほど感謝している」と救命した 5 人と喜び合いました。



木戸勝則さん（中央手前）の回復を喜ぶ蘆田崇晴さん、塚本文則さん、楠原健一さん、足立圭子さん、望月宏子さん（左から）

丹波竜の「ちーたん」をあしらった 路線バスを運行会社に貸与

2 月 26 日、市内の路線バスを充実させるため、市が購入して運行業者の神姫グリーンバスに無償貸与する中型ノンステップバスの引渡式が行われました。貸与したバスは 3 月 15 日から運行が始まり、主に高校生の通学利用などが多い佐治一柏原駅、谷川駅一柏原駅間の路線で使用されます。

神姫グリーンバスの本間和典社長は「安全運行を第一に努めていきたい」と話しました。



貸与されたバスと本間社長（写真左）

伝統建築の技「檜皮葺」の パンフレットを寄贈



作成したパンフレットを手渡す野垣さん（左）と岸田教育長

上久下地区で盛んな「檜皮葺」などの「伝統建築工匠の技」が、昨年 12 月にユネスコ無形文化遺産に登録されたことを受け、上久下地域自治協議会が檜皮葺の建物紹介などのパンフレットを作成し、2 月 22 日、市教育委員会に寄贈しました。パンフレットは市内全小学生に配布され、様々な学習に利用されます。

自治協議会会長の野垣克己さんは「この機会に檜皮葺をもっと知ってほしい」と話しました。

高校生の自転車交通事故防止のための活動で 市内 3 高校が表彰されました



氷上高校・柏原高校・氷上西高校の代表者のみなさん

3 月 5 日、高校生の自転車事故を防止するための取り組みで無事故・無違反を達成した市内の 3 校（柏原高校・氷上高校・氷上西高校）に、丹波警察署から表彰状が手渡されました。3 校では高校 1 年生の自転車通学の生徒を対象に、交通ルールやマナーの学習・テストを実施し、昨年 12 月末まで自転車無事故・無違反を達成しました。

柏原高校の荻野灯さんは「自転車も車両あかりに分類される。運転にはさらに気をつけたい」と話しました。



Special thanks

新型コロナウイルス感染症対策のため、皆様から様々な物品の寄贈をいただきました。心から感謝申し上げます。

2月28日寄贈分まで

○令和2年12月16日

- 物品 / 卓上衝立（遮蔽板）
- 寄贈者 / グリコマニュファクチャリングジャパン株式会社様
- 用途 / 子育て学習センター・児童館に設置

○令和3年1月8日

- 物品 / アルコール消毒液・デスクウォール
- 寄贈者 / 氷上急行運輸倉庫株式会社様
- 用途 / 市役所窓口などに設置

○令和3年2月19日

- 物品 / 冷却シート・消毒液
- 寄贈者 / ダイヤ製薬株式会社兵庫工場様
- 用途 / 認定こども園に配布、健診の際に配布

医療の道へ新たな一歩

看護専門学校で卒業式を挙行



「卒業のことば」を述べる代表の足立さん

3月5日、丹波市立看護専門学校で卒業式が行われ、34人の学生がそれぞれの道に歩みを進めました。今年度は新型コロナウイルスの影響で病院での看護学実習の受入日数が減少したため、模擬患者を招いた学内実習など、新たな実習にも取り組み、全課程を終えてこの日を迎えました。

卒業生代表の足立安海（あみ）さんは「3年間で学んだ知識や技術、人に対する思いを大切に、さらに成長できるよう励みます」と決意を述べました。



上：野菜を手渡す受講生（右3人）とたかみ農場のみなさん（左2人）

下：受講生が作った丹波大納言小豆や野菜と感謝の手紙

農の学校 通信

【感謝の気持ちを込めた野菜を届ける 編】

昨年度、農の学校では、実習などでお世話になった農家さんや近隣の住人を招いて、収穫した野菜などで作った食事をふるまう感謝祭を行いました。しかし、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催を断念。代わりに、1年間農の学校の運営に協力いただいた講師や地域のみなさんに、感謝の気持ちを込めて、受講生が育てた丹波大納言小豆や野菜をセットにして届けました。

受講生代表で野菜を渡した奥川陽（あきら）さんは「将来は、もっと美味しいものを作って多くの人に食べて欲しい」と意気込み、小豆の有機栽培の指導を行った講師の高見康彦さんは「受講生に頑張ってもらえたことが嬉しい」と笑顔で話しました。

2期生の12人は全員の進路が決まり、そのうち6人が市内で就農する予定です。